

# 平成29年度大磯町教育委員会第10回定例会議事録

1. 日 時 平成30年1月18日（木）  
開会時間 午前9時00分  
閉会時間 午前10時20分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎4階 第1会議室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長  
曾 田 成 則 教育長職務代理者  
青 山 啓 子 委員  
濱 名 三代子 委員  
長 嶋 徹 委員  
仲手川 孝 教育部長  
宮 代 千 秋 学校教育課長  
山 口 友紀子 学校教育課副課長  
森 田 敏 幾 参事（政策担当）  
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長  
佐 川 和 裕 参事（歴史・文化担当）  
山 口 章 子 生涯学習課長  
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長  
早 崎 薫 生涯学習課図書館長  
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 1名
6. 教育長報告
7. 付議事項  
議案第10号 平成30年度当初予算における教育委員会関連予算要求について  
議案第11号 平成30年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について
8. 協議事項  
協議事項第1号 平成30年度教育委員会基本方針（案）について
9. 報告事項  
報告事項第1号 平成29年第4回（12月）大磯町議会定例会について  
報告事項第2号 平成29年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの実施結果について  
報告事項第3号 OISO学び塾Ⅳ・明治150年記念「ハワイ開拓の先駆者・後藤 潤（かつ）」の開催について

- 報告事項第4号 図書館教養講座『地図と地形からみた神奈川の鉄道』について  
報告事項第5号 児童文学講演会『絵本と紙芝居のふしぎなふふふの違い』について  
報告事項第6号 平成30年度大磯町郷土資料館の臨時開館について  
報告事項第7号 春季企画展『ちょっと昔の暮らしと道具』の開催について  
報告事項第8号 大磯町立学校教職員働き方改革の取組みの試行について

## 10. その他

### (開 会)

教育長) それでは、ただいまから、平成29年度大磯町教育委員会第10回定例会を開催いたします。本日の会議の内容ですが、付議事項が2件、協議事項が1件、報告事項8件でございます。

本日は5名全員、出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

なお、本日は傍聴を希望される方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条に規定により、傍聴を許可いたします。暫時休憩します。

傍聴人が入場し、休憩を閉じて再開した。

### (平成29年度第9回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成29年度第9回定例会議事録」は、1ページから20ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成29年度第9回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

### 教育長報告

教育長) それでは、12月定例会開催後の平成29年12月22日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

1月7日、大磯運動公園におきまして、消防出初式が開催されました。今年も国府中学校の吹奏楽部の生徒が演奏を行い、出初式に華を添えました。当日は、天候にも恵まれ、緑で囲まれた公園内に降り注ぐ穏やかな日差しと活気のある演奏のハーモニーが、会場を訪れた人々を楽しませていたというふうに感じました。

翌日の1月8日、大磯プリンスホテルを会場に、成人式・新成人記念の集いを開催しました。詳細につきましては、後ほど事務局より報告いたします。

1月13日、国指定重要無形民俗文化財である「大磯の左義長」が北浜海岸において行われました。大磯中学校の1年生が、今年も地域の方々と一緒にサイトづくりを行いました。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、12月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事、その他についての報告は特にございませぬ。本日の報告は、以上でございます。

## 議案第10号 平成30年度当初予算における教育委員会関連予算要求について

学校教育課長) それでは、説明資料の2ページ、3ページをお開きください。学校教育課の予算要求の説明をいたします。

まず、予算科目の教育総務費は、3ページにありますように、要求額9,582万6千円、前年度比較で1,805万7千円の増額となります。増額につきましては、校務の効率化と生徒の教育支援の充実のために導入する校務支援システムと、教育研究所の移転に向けて、移転先の旧横溝千鶴子邸の改築設計委託を行うための経費が主な要因となります。

校務支援システムについては、このシステムを導入することにより、教職員の校務の負担軽減を図ることが可能となり、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させることで、教育の質の向上に繋がるような職場環境の充実に努めてまいります。

また、現在の教育研究所については、こいそ幼稚園内の施設にありますが、教育に関する調査研究、研修、教育相談など更なる機能強化なども考え、移転を行っていくものであります。

そのほか、平成25年度から平成28年度までの4年間にわたり実施しました「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」における成果を継承し、町の事業として、昨年に引き続き、学びづくり推進事業を実施し、児童・生徒の学力向上、教員の指導力向上を目指した実践研究に取り組んでまいります。また、平成27年3月に小・中学校学習指導要領が改訂されたことに伴い、平成30年度から、小学校では、道徳の時間が「特別の教科 道徳」として位置づけられることとなりますので、これに伴い、教職員用の教科書や指導書の購入をしてまいります。

支援教育の推進では、指導協力員と教育支援員の増員により児童・生徒に対する支援体制の充実を図ってまいります。

次に、3ページから4ページにかけて記載している小学校費です。要求額は9,352万3千円、前年度比較4万5千円の増額です。予算額は、事業終了などの減額と新規増額との相殺により、ほぼ前年並みとなっております。増額につきましては、小学校外国語教育の充実化を図るため、新たに非常勤講師を配置する経費が主な要因であります。

次に、5ページから6ページにかけて記載されている中学校費です。要求額は5,745万3千円、前年度比較3,111万9千円の減額です。減額につきまし

ては、中学校のデリバリー給食が昨年10月中旬で休止となったことにより、現時点では、今後の調理配送委託業者との契約が見込めないために、調理配送委託料を減としたこと、また、それに伴う就学援助費等の減が主な要因であります。増額の主な要因としては、両中学校のテニスコートの修繕工事、大磯中学校の体育館連絡通路屋根修繕、そして、今後の中学校給食の方式を検討するための調査費であります。学校教育課は以上です。

生涯学習課長) 続きまして生涯学習課関係の予算要求の説明をいたします。8ページが生涯学習係の予算です。生涯学習課の要求額は2543万7千円です。前年度比で188万4千円の増額となっています。主な増額理由を個別にご説明します。

社会教育委員会議運営事業につきましては、研究大会が遠方であることによる宿泊費の増です。

青少年指導員連絡協議会運営事業では、指導員の任期更新を予定していることから、ユニフォーム購入費の計上による増です。

生涯学習館維持管理事業につきましては、全体修繕費の増額査定による増です。

また、下から2段目、文化財保護事業におきましては、2年間の時限要綱に基づく、御船祭山車等修理交付金の最終年の予算計上と、国・県の補助事業を受け、3年継続から4年に延長をしました、「国府祭調査事業」の増によるものです。生涯学習課生涯学習係は以上です。

図書館長) 生涯学習課図書館は、資料の9ページになります。主な内容について説明いたします。

はじめに図書館維持管理事業は、図書館施設の各種設備の保守業務委託、修繕を行ないます。

2つ目の図書館運営事業は、本館、分館の窓口に臨時職員を配置して、利用者への円滑なサービスを提供します。

3つ目の図書館コンピュータ・ネットワーク推進事業は図書館コンピュータ・システムの借上げを行い、窓口業務や蔵書管理、インターネット蔵書検索などの業務を効率的に運営します。

4つ目の図書館資料整備事業は図書館資料の充実を図るため、資料の購入、受入、整理を行ないます。来年度は明治150周年記念映画会用のDVDの購入を見込んでいます。

最後に子ども読書推進事業は、ブックスタート、図書館見学、学級招待などの児童サービスの実施や学校図書館などと連携して子ども読書活動を推進します。

以上、図書館費の予算要求見込額は4,378万1千円で、前年比較で78万9千円の増額となります。

郷土資料館長) 郷土資料館につきましては、要求額が4,920万9千円で、前年度比、986万4千円の増でございます。

事業ごとの主な内容といたしましては、郷土資料館運営事務事業は郷土資料館の運営事務で、今年度に引き続いた内容となります。

郷土資料館維持管理事業は、各種修繕等を予定しております。

郷土資料館学芸活動事業につきましては、各分野の資料収集・調査研究を行なってまいります。

教育普及・企画展事業につきましては、平成 30 年度は「明治 150 年」に関する展示等の事業を想定しております。

旧吉田茂邸運営事務事業において調度品の製作等を予定しております。また旧吉田茂邸維持管理事業につきましては備品の購入を予定しております。また、旧吉田茂邸の臨時職員賃金は運営事務事業と学芸事業の双方に計上しております。旧吉田茂邸研修等事業については本年に引き続いた事業展開を予定しております。

子育て支援課長) それでは、子育て支援課の教育費、幼稚園に係る平成 30 年度予算要求について、ご説明いたします。それでは、資料の 7 ページをご覧ください。

初めに、幼稚園費の幼稚園運営事業ですが、国府幼稚園の統廃合により 2 園となります町立幼稚園の運営に必要な消耗品や旅費、各種負担金、その他に、臨時教諭や教育支援員などを配置するための費用となっています。幼稚園の臨時職員については、臨時教諭を除く預かり保育士や教育支援員、園務整備員の賃金について、増額の単価改正を行うとともに、水曜日の教育時間の延長や夏季保育の拡充に対応するよう雇用時間を延長しております。

また、平成 30 年度より試行的に実施いたします満 3 歳児保育事業に係る備品及び消耗品についても、予算計上しております。なお、平成 30 年 4 月より公私連携幼保連携型認定こども園が開園いたしますが、現在、国府幼稚園で使用しております仮設の職員室及び園舎の解体を行うとともに、国府幼稚園の廃園に伴う廃棄物処分などを行ってまいります。解体費用については、幼稚園運営事業ではなく、待機児童対策事業の中で予算計上しております。

次に、幼稚園施設・設備維持事業については、施設・設備の維持管理及び保守点検など、概ね今年度と同様の内容となっておりますが、国府幼稚園に係る部分を若干減額しております。平成 30 年度の施設の修繕といたしましては、大磯幼稚園では園舎 2 階の西側部分への網戸の取り付けを行い、たかとり幼稚園では、ブランコの修繕を予定しております。

3 点目の私立幼稚園就園補助事業では、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に通う園児の保護者に対し、経済的な負担を軽減するための補助を行っております。就園補助については、平成 26 年度を境に補助件数及び補助額が減少してきておりますが、引き続き補助事業を実施してまいります。

最後に幼稚園費の合計ですが、予算要求額が 5,083 万 6 千円で、前年度予算額が 6,401 万 1 千円ですので、1,317 万 5 千円の減額となっております。子育て支援課の教育費 幼稚園に係る平成 30 年度当初予算の説明については、以上となります。

質疑応答)

青山委員) 3ページにあります学校教育課の、校務支援システムの導入という部分なのですが、教員の業務の効率化を図ると、今回予算計上されていますが、効率化できる業務とは具体的にどのようなものを考えられているか、詳しく説明してください。

学校教育課副課長) 校務支援ソフトというのは、より効率的な事務作業及び成績処理が可能となるため、教員の業務負担軽減及び生徒の教育支援の充実をはかるため導入できればと思い、予算計上いたしました。具体的な作業としては成績処理、各種書類が連動してより正確に処理されているということ、子どもたちの教育支援もできるということで活用できればと考えております。

長嶋委員) 基本的に運営に関する様子はわかるのですが、私も会社をやっている立場から言いますと、旧吉田茂邸とか郷土資料館とか、またイベント等、逆に収入事業などがあるのかななどと、そういう部分の多少予算というのがどこか頭に無いと、たぶん必要なものを支出する予算を組むというような部分が明確にわからない部分があるのですが、どのような処理の仕方をされているのでしょうか。

教育長) 具体的には旧吉田茂邸関係の収入とかですね。

長嶋委員) そのような分が増えて、予算も増えるのだと思うのですが、一切町の予算のこういう部分がなかなか出てこないのです。

郷土資料館長) 本日のご説明につきましては、歳出についてお話し申し上げておりますけれども、旧吉田茂邸につきましては、歳入予算としては、まず入館料収入と、あとは施設使用料ですね。それについての歳入予算について計上しております。以上です。

長嶋委員) それは、別の勘定科目があるのですか。

生涯学習課長) 旧吉田茂邸の歳入予算につきましては、歳入予算で入館料として科目立てして歳入がございます。そちらにつきましては、歳出の事業に充てるということで、旧吉田茂邸の備品ですとか、新たな委託のところに予算を充てるように予算を組んでおります。歳入と歳出があることで予算を組んでおります。

濱名委員) 現場と事務局がしっかり話し合っ、無駄な経費などは無く、話し合った要求になっていると思います。予算から見えてくることとして特に前年比の多い学校教育課のなのですが、多く要求しているところというのは、先ほど説明がありましたけれども、不登校の児童に対するものであったり、経験の浅い教員が増えているなかで、教育研究所整備事業であったり、校務用コンピューターの整備というものも、今後の小学校や中学校の教職員の働き方改革にかかってくるもので、すごく手厚くて柱がしっかりしていて適正な要求であると感じました。

曾田委員) 学校教育課の支援教育推進事業というのがございますが、これは人数を増やせば支援になるのか、支援の目的が明確にわかっている、担当の人がしっかりやるのか。支援の意味を教えてください。

学校教育課副課長) 支援教育ということで、支援員や指導協力員を今回増やしていただいておりますが、根拠というか指導主事が各学校、園に回りニーズがあ

るかかどうかということは、しっかりと確認しております、その上で予算を上げさせていただいております。

曾田委員) 働く方が、ただ支援をするのと、その支援という意味をわかって働いているのか、理解をしながら支援活動をしているのか。実状を教えてください。

学校教育課副課長) 年に3回支援員の研修会を行っています。この1月も研修を行ったばかりでございます。基本的な支援の話をするというのがありますが、今回はグループディスカッションを行って、より良い支援について自分たちで考え、発表する形をとるなど、お互いに研究し合い、高めあう機会も設けております。ただ支援するというのではなく、「支援とは何か」ということを常に考える研修を行っています。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第10号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第10号「平成30年度当初予算における教育委員会関連予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

#### 議案第11号 平成30年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について

子育て支援課長) それでは、平成30年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について、ご説明いたします。資料の別紙、1ページ目をご覧ください。

まず、歳入ですが歳入は2点ほどありまして、1点目は、使用料及び手数料、使用料の教育使用料、幼稚園使用料、幼稚園保育料の減額になります。

こちらは、公立幼稚園3園の保育料で、当初予算では前年度と同等の歳入を見込んでおりましたが、実際は、前年度に比べて大幅に園児が減っておりますので、その部分の保育料の減額になります。

次に、国庫支出金の教育費国庫補助金、幼稚園費補助金の就園補助金の減額になります。

こちらは、子ども・子育て支援新制度に移行しない私立幼稚園に通う園児の保護者に対し、保育料などの経済的な負担を軽減するための補助を行うもので、その補助金に対する国の負担部分になります。今年度は、就園補助金の補助対象児童が見込みより少なかったことによる減額となります。就園補助事業につきましては、平成26年度をピークに対象児童数が年々減少している状況にあります。歳入についての説明は、以上となります。

次に子育て支援課の歳出ですが、歳出については3点ほどございます。

まずは、教育費の幼稚園費、幼稚園運営事業で臨時職員の賃金と社会保険料で、共済費は社会保険料、賃金は臨時雇賃金の減額となります。

こちらについては、臨時教諭や教育支援員等の賃金等となりますが、人事異動等により不要となった分の賃金と社会保険料について減額するものです。幼稚園では、正規職員の他に退職した職員を任期付職員として任用しており、

今年度の減額は再任用職員の配置による人事異動等の中で対応したため不要になったものです。

次に、私立幼稚園就園補助事業の就園補助金については、先ほど歳入でもご説明したとおりで、補助対象児童数が見込みより減のため減額するものです。当初予算では、83名を補助対象として見込んでおりましたが、実際には74名が補助対象となりましたので、それに伴う減額となります。

平成30年3月補正予算における教育委員会関連予算要求についての説明は、以上となります。

生涯学習課長) 生涯学習課郷土資料館関係について、ご説明いたします。

資料の別紙をご覧ください。まず歳入ですが、予算科目は教育費寄附金 社会教育費基金寄附金 旧吉田茂邸整備活性化等基金寄附金です。補正理由としては旧吉田茂邸の整備活性化に対する寄附金による収入の増です。

次に歳出です。予算科目は教育費・社会教育費・郷土資料館費です。事業名は、旧吉田茂邸運営事務事業・積立金・旧吉田茂邸整備活性化等基金積立金です。補正理由としては旧吉田茂邸整備活性化等基金への積立金の増です。

ご説明は以上です。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第11号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第11号「平成30年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

## 協議事項第1号 平成30年度教育委員会基本方針(案)について

学校教育課副課長) 本日お示ししております案につきましては、事務局が素案として作成しました12月の案について、委員の皆様からご意見をいただき、いただきましたご意見を各課・館で検討した結果となります。

このあと、各担当から修正箇所や特にお伝えしたい点について、学校教育課から順にご説明いたします。

それでは、まず、1ページの前文ですが、平成27年11月に策定した、大磯町総合教育会議の「大磯町教育大綱」を踏まえ、平成28年度は大幅に書き換えましたが、その後は特に新たに修正した箇所はございません。

続いて、1ページから4ページ学校教育の基本方針です。

おめくりいただきまして、2ページ〔重点施策〕1. 幼稚園の(1)に「町立幼稚園では、平成30年4月からの教育課程に係る教育時間等を変更し、水曜日の教育時間を午前保育から午後2時までの保育に延長すること」について



を、また、(5)に「公私連携幼保連携型認定こども園「サンキッズ国府」がスタートすること」を新たに加えさせていただきました。

3ページにまいりまして、2. 小学校・中学校におきまして、(6)平成29年10月16日より休止している中学校給食については、調査業務を行い、懇話会等の意見をふまえ、給食提供方式を検討し、実施再開に向け取り組んでまいります。

おめくりいただきまして4ページの(9)、スクールソーシャルワーカーについては、大磯町に配置したソーシャルワーカーが一定の成果をあげていることから、5ページにもございますが、付け加えさせていただいております。

4ページ下の施設面(13)につきまして、すべての町立学校の教育環境の向上の一環として、空調設備を設置するための準備を進めます。

(15)校務支援ソフトの活用によって、より正確な事務作業及び成績処理が可能となるため、教員の業務負担の軽減及び児童・生徒の教育支援の充実を図るための一つとして、導入にかかる整備を行います。

また、新たな取り組みとして、今年度、学校長等の経営者会等で検討を続けてきた件、(16)国の推進する「働き方改革」を受け、「教職員の心身の健康やワーク・ライフ・バランスにつなげる」、「仕事効率の向上により、教職員が子どもと向き合う時間を確保する」、「職員の働きやすい職場環境の実現を推進する」という趣旨と目的のもと、働き方改革に取り組めます。

5ページの教育研究所ですが、5)教育研究所の機能強化のため、移転も視野に入れた整備を行います。

なお、学校教育課の用語の解説になりますが、スクールソーシャルワーカーについて新たに付け加えました。説明は以上です。このあと、生涯学習課・図書館・郷土資料館の順にお願いします。

生涯学習課長) 続きまして、生涯学習課分についてご説明いたします。生涯学習課の生涯学習係分は7ページです。

基本方針の重点施策につきましては、委員の方々からご指摘とご質問をお受けいたしました。

今回の修正点のひとつ目は、重点施策の1.「地域力」を「地域の教育力」という表現に修正したことです。ご指摘のとおり、本基本方針の4ページ、小学校・中学校の重点施策(11)に記載しています語句との整合を図ります。

また、2行目の下線部分では、社会教育委員会議における研究という、具体的な表現で、社会教育事業の明確化と、わかりやすくするための修正を行いました。

ふたつ目は、重点施策の2.「大磯町生涯学習推進計画」の中間アンケート結果集計のその後の利用について、簡潔な記載となるよう修正を行ったものです。生涯学習課生涯学習係分は以上です。

図書館長) 続きまして生涯学習課図書館は9ページになります。基本方針と目標は今年度と変更はありません。重点施策の2に今年度の重点施策とした参考図

書の充実やレファレンスサービスの充実に変えて、30年度は図書館サービス計画に掲げた、図書館サービスの普及をはかるため、資料のテーマ別展示や特設コーナーの活用や利用案内の実施に変更いたしました。図書館は以上です。

郷土資料館長) 郷土資料館につきましては、重点施策について、3に記載の郷土資料館本館と旧吉田茂邸の一体運営のほか、明治150年記念事業と開館30周年の記念事業について記載しております。

29年度の3から6については、文言等を整理する形で、4から6に記載しております。概要は以上です。

質疑応答)

青山委員) 4ページにある学校教育課の(12)児童生徒の体力向上ですが、取り組み指針の見直しというのは何年に一度と決められているものなのか、あるいは状況を見る中で30年度の見直しを行うものなののでしょうか。

学校教育課副課長) これは、平成25年に指針を決めまして、かなり時間が経過していることから今回見直しについて入れております。

青山委員) わかりました。5年間状況もいろいろと変わってきていると思いますので、より体力向上を目指して見直すことは良いと思います。

## 報告事項第1号 平成29年第4回(12月)大磯町議会定例会について

教育部長) 平成29年第4回大磯町議会定例会の概要についてご報告します。

会期は11月29日から12月14日まで16日間の日程で行なわれました。

資料の1ページをお開き下さい。提出議案の一覧でございます。教育委員会関連は、アンダーラインで記した部分で、2ページ目の8番、議案第44号でございます。それでは議案の審議についてご報告いたします。3ページをご覧ください。

議案第44号、平成29年度大磯町一般会計補正予算(第4号)でございます。5ページをお開きください。教育委員会関連の補正予算は、表のアンダーラインで表示した部分です。

歳出として、8番の学校給食施設・設備維持事業の給食用備品購入費、9番の教育振興推進事業、中学校費の部活動補助金でございます。

教育委員会関係では2名の議員から質問がありました。

主な質疑といたしまして、始めに玉虫志保美議員から、国府小学校で購入予定のスチームコンベクションの能力について、部活動補助金の支給額が増えている要因についての質問がありました。

次に柴崎茂議員から、部活動補助金は前払いにすべきとのご意見を頂きました。

本議案は、直ちに討論、採決が行われ、賛成多数で可決されました。

議案関係は以上でございます。

次に 8 ページ、9 ページをご覧ください。教育委員会関係の陳情で、2 件提出されました。内容は、陳情第 11 号「国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」及び陳情第 12 号「神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」で、陳情者はいずれも「神奈川私学助成をすすめる会」でございます。本陳情は福祉文教常任委員会に審査を付託され、12 月 5 日に審査が行われました。

主な質疑として、平成 28 年度の町立中学校卒業生の進学状況について、私立高等学校等の就学支援補助金の内容について、等の質問がありました。

資料の 10 ページをご覧ください。

本陳情は、直ちに討論、採決が行われ、資料のとおり陳情 11 号及び 12 号いずれも趣旨採択となりました。なお、採決の内訳は、陳情を採択とする委員が 2 名、趣旨採択とする委員が 4 名でした。

続いて、12 月 7 日、8 日に行なわれた一般質問の概要についてご報告いたします。

11 ページから 17 ページが一般質問の通告内容で、アンダーラインの部分教育委員会関係の質問です。5 人の議員から大きく 6 問の質問がありました。

11 ページをご覧ください。はじめに吉川重雄議員で、「町政の行政課題の対応に問題はないか」として、「中学校給食休止後の対応について」の質問がありました。

町長からは、中学校給食の休止後の対応については懇話会からの意見もふまえて、他の自治体の取り組みを改めて研究し、町で実現可能な学校給食の提供方法について専門家の協力も得ながら調査を行う。その結果を基に、早い時期に町の小中学校の学校給食のあり方を、町長として責任を持ち決断していきたいと答弁がありました。

教育長は、来年度予算で調査費を計上し、具体的な検討を進めたい。また、当面の昼食に関しては、懇話会や学校現場の意向もふまえて、しばらく様子を見守りたいと答弁いたしました。

再質問として、町長に対し、政治公約として始めた学校給食が 1 年余りでこのような結果になったことについて、広報などで町民に謝罪をする考えはあるか、また教育長に対しては、当面状況を静観するだけでなく一刻も早く温かい給食を子供たちに提供できるよう、水面下でしっかりと取り組む必要がある、また、中学校給食に関する懇話会のメンバーに責任ある立場の町職員を加えるべき、等といった質問、意見がありました。

次の質問者は同じページの二宮加寿子議員で、「人口ビジョン・総合戦略の進捗」に関連して、「時代の変化に対応した教育環境の整備について」の質問がありました。

町長からは、「朝の子ども居場所づくり事業」の開始、待機児童の解消に向けた「私立認定こども園の整備費補助」、「学校教職員校務用コンピュー

ターの整備」など、若い世代に選ばれるまちづくりを目指し、取り組みを進めていると答弁がありました。

教育長は、確かな学力を育む学校教育の推進に向けて、ICT教育環境の整備充実としてデジタルテレビやタブレット端末を活用した効果的な事業の展開、学校教職員校務用コンピューターの整備、教職員へのICT機器活用に向けた研修、また、外国語教育の推進として英語指導助手の配置や、英文朗読大会の充実化などの取り組みを進めており、このような総合戦略に基づく取り組みの推進等を通じ、確かな学力・健やかな体・豊かな心を育む教育と、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりの実現を目指すと答弁いたしました。

再質問として、デイジー教科書の導入など、今後のICT関連の取り組みについての町の考えについて、また、セカンドブックスタートについての質問がありました。

次の質問者は12ページの坂田ようこ議員で、2問質問がありました。

1問目が「旧吉田茂邸の活用に対する展望を問う」で、町長からは、旧吉田茂邸の自主事業として講演会や研修会を開催しているほか、企業、大学との連携事業の推進、メディアに対する情報発信などを積極的に進めていると答弁がありました。

教育長は、11月末には来館者が8万3,000人を超えるなど順調な滑り出しとなっている、これには、町民や民間団体の活動も大きな要因であると答弁しました。一方、課題として、来館者が集中する時間帯における入退場口の対応、雨天時の対応、窓口対応、館内見学者の動線などを挙げ、改善可能な課題はスピード感を持って取り組んでいると答弁いたしました。

今後の方策として、新たな来館者層の開拓とリピーターの確保により運営の安定化を図るため、休憩スペースの拡大などの環境整備、学術分野、自己啓発分野、文化芸術分野からの学習機会の提供、教育機関や企業との連携及びメディア対策などに取り組んでいくと答弁いたしました。

再質問として、課題解決に向け神奈川県や民間団体等と連携が図られているか、リピーターを確保するための具体的な方策と課題、迎賓館的な活用を図るうえでの飲食、厨房設備の整備について、及び指定管理者の導入時期について等の質問がありました。

次に坂田ようこ議員の2問目の質問は、「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」の進捗状況の点検・評価を問う」という質問で、町長からは教育委員会関連として、私立認定こども園あおぼとへの補助、平成30年4月1日開園予定の私立認定こども園サンキッズ大磯の状況について、また、総合的な放課後対策事業として、学童保育や放課後子ども教室の関係者、小学校長、PTA役員等、各種団体や学識者などにより「放課後子ども総合プラン連絡調整会議」を設置し、学童保育と放課後子ども教室の連携など検討を進めている。などと答弁がありました。

次の議員は 15 ページの柴崎茂議員で、中学校給食についてとして、どのような問題があったか、そのたびに議会に説明、報告がなかったのはなぜか、だれか責任を取ったのか及び今後どうするつもりか、という質問がありました。

町長からは、昨年 3 月以降これまでに延べ 11 人の議員から中学校給食に関する一般質問があり、その都度、答弁を通じ議会、町民に対して課題や町の取り組みなどについて説明をしてきたが、今回の結果は執行責任者として責任を痛感しており、議会や報道機関を通じ町民に謝罪を行った。今後の中学校給食については、教育委員会において自校方式、親子方式及びセンター方式、それぞれの実現性や課題等の調査を進め、その調査結果を判断材料として、懇話会の意見等を参考に来年度中に方針を固める予定としており、町長として必要な財源の確保を決断する、と答弁がありました。

教育長は、まず「どのような問題があったか」については、当初味や見栄え等に課題があり、その後改善を重ねたが異物混入に対する対応の甘さもあり生徒や保護者の給食に対する不信感を解消することができなかつたと答弁しました。

次に「議会に対する報告」については、一般質問を通じ問題点に対する具体的な対応状況等について多くの時間をかけて説明をしてきた旨を、具体例を挙げながら答弁しました。

次に「誰が責任をとったのか」については、生徒・保護者に対して保護者説明会等を通じ謝罪をしており、さらに記者会見等を通じ広く町民に向けた謝罪を表明していると答弁しました。

次に「これからの給食はどうなっていくのか」については、現在ほとんどの生徒が家庭弁当を持参し落ち着いた様子であるため、当面この状況を保ちたいという学校現場での声を尊重し、現在は様子を見守っている状況である。しかし、今後、保護者からさまざまな御要望が上がってくることも考えられるため、学校とは連絡を密にし、必要に応じて対応すると答弁しました。

また、学校給食を再開するため、町内での調理・調達を視野に、自校方式、親子方式及びセンター方式それぞれの実現性や課題等を調査し、結果を基に関係機関等と話し合い、早急に町にとって望ましい中学校給食が導入できるよう、取り組む、と答弁しました。

再質問として、業者が配達遅延を起こした問題とその後の対応方法における問題点、食材価格についての疑問点、事業者との契約についての疑問点、弁当箱の購入単価についての疑問点などの質問がありました。

次の議員は 17 ページの鈴木京子議員で、中学校給食の即時改善として、エンゼルフーズとの協議内容と進捗は、9、10 月の給食費の精算状況は、牛乳給食の再開は、弁当をつくるのが困難な家庭への支援は及び調査費計上の目的と内容は、という質問がありました。

町長からは、事業者との協議内容と進捗については代理人による話し合いが続いている状況のため回答は差し控える、休止している中学校給食につい

ては懇話会から他の自治体の取り組みや町で実現可能な学校給食の提供方法について具体的かつ最新の情報を求められているため、教育委員会で必要な予算措置に対する支援は行っていききたいと答弁がありました。

教育長は、「エンゼルフーズとの協議内容と進捗は」の質問に対して、現在も双方が代理人を立てて話し合いを続けているところであり、発言は控えると答弁いたしました。

次の「9月、10月の給食費の精算状況は」については、返金事務処理は年内で完了する見込みだが、保護者への返金は年明けになる見込みであると答弁し、併せて精算が遅れていることに対し謝罪の意を述べました。

次の「牛乳給食の再開」については、今後各校において生徒や保護者からの意見要望等を確認し、対応について学校と協議をすると答弁しました。

次の「弁当をつくるのが困難な家庭への支援は」については、学校現場では現状として生徒たちが落ちついて家庭弁当を食べ、昼食の時間を穏やかに過ごしており、コンビニ弁当を持参する生徒もほとんどいない状況である。弁当の提供について保護者からの具体的な要望も出ていないと聞いているため、当面は様子を見守っていく。ただし、今後さまざまな要望が出てくるとも考えられるため、教育委員会として引き続き学校やPTAと連携を密にし、各学校の実情に応じた対応を進めていくと答弁いたしました。

次の「調査費計上の目的と内容」については、調査の目的は望ましい中学校給食のあり方について具体的な議論をするための基礎資料を作成するためであり、調査委託の具体的な内容は、町内で給食を調理調達する場合の各方式について、それぞれ実現性や費用、課題等を調査するものである。調査結果を参考に懇話会等関係者と話し合い、来年度中に町にとって望ましい中学校給食について教育委員会として決定をし、速やかな導入を関係機関に要請していくと答弁いたしました。

再質問として、エンゼルフーズとは契約解除を前提に話し合いを続けているのか、今後の検討の中でデリバリー方式は選択肢として無いのか、調査費を計上して時間を費やすのは無駄ではないのか、等の質問がありました。

以上が一般質問の質問及び答弁の概要です。

平成29年第4回大磯町議会定例会の概要報告については以上でございます。

本議会の会議録については、後日、議会事務局より町ホームページに掲載されますので、詳細については後日ご覧いただきたいと存じます。以上です。

質疑応答) 質疑なし。

**報告事項第2号 平成29年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの実施結果について**

生涯学習課長) 報告事項第2号についてご説明します。1枚おめくりください。

本年度の成人式ならびに新成人記念のつどいは、平成 30 年 1 月 8 日の祝日、午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで、大磯プリンスホテルメインバンケットホールで開催いたしました。

例年同様、前半は大磯町と大磯町教育委員会の主催する式典、後半は新成人の実行委員会主催による「新成人記念のつどい」を開催いたしました。

本年度の新成人該当者は、平成 9 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日生まれの、男性 139 人、女性 128 人の計 267 人で、当日の出席者は、男性 116 人、女性 104 人の合計 220 人であり、出席率は、男性 83.45%、女性 81.25%の 82.40%となった結果、近年にない出席率となりました。また、町外から参加された新成人は、男性 14 人、女性 9 人の合計 23 人でした。

実行委員会が主催する記念のつどいでは、新成人 239 人、来賓 62 人の、計 301 人が参加されました。

なお、つどいにおけるティーパーティー参加の収支で、残余金額は 11,000 円となっています。来週 23 日開催の実行委員会において、使途先を決める予定です。昨年は大磯町社会福祉協議会に、一昨年はユニセフへ寄附を行っています。

参考までに、平成 20 年以降の推移表を掲載いたしましたので、ご覧ください。1 番下の段が今回の成人式式典等の数値です。該当者は、昨年よりも 12 人減少しておりますが、出席率が高かったため出席者数は 13 人多くなりました。

なお、募集しました当日ボランティアについては、本年度は応募がありませんでした。

質疑応答)

曾田委員) 2 つほど聞かせてください。1 点目は今回の成人式は全国的に大きな話題がありましたけど、大磯町は被害の届け出は無かったでしょうか。2 点目として大磯町は例年穏やかな成人式をむかえておりますが、特に秘訣があるのか教えてください。

生涯学習課長) 大磯町成人式の被害は何かあるのかということにつきましては、今までも、近隣でありますような大声、暴走などは無く、今回もございませんでした。

大磯町の成人式典は例年穏やかで、今年度につきましては非常に静かに皆さんの挨拶を聞いておりました。大磯町は小学校、中学校それぞれ学校数が少なく、お互いの顔が分かり、来賓の中に恩師が来られていますので、お互い顔が見える式典ということが良いのだと思います。

今年度は、昨年度、国府小学校の体育館で行った際に、式典部分で椅子に座るという形式をとりました。座ることで静かに聞くということで、今年度から大磯プリンスホテルに会場を変えたのですが、椅子を用意し、椅子に座る形式にしたこともよかったのではないかと思います。

なお、振袖事件については、教育委員会へは連絡、報告はありません。

### 報告事項第3号 OISO 学び塾Ⅳ・明治150年記念「ハワイ開拓の先駆者・後藤 潤(かつ)」の開催について

生涯学習課長) 報告事項第3号、OISO 学び塾Ⅳ・明治150年記念、「ハワイ開拓の先駆者/後藤潤(かつ)」の開催について報告いたします。

1枚おめくりいただき、実施計画をご覧ください。

生涯学習係では、生涯学習推進事業の一環として講座、教室などを開催しています。今回「OISO 学び塾」において、本年は平成30年が明治150年であることからこれを記念し、明治の初めに移民の先駆けとして大磯町からハワイに渡り、サトウキビ農場の過酷な労働条件に苦しむ移民労働者を助けて闘った、後藤潤の足跡をたどる講座を開催します。

演題は、「ハワイ開拓の先駆者/後藤潤(かつ)」と、いたしました。

1回目の講師は、大磯町馬場在住、ハワイ大学で理学博士号を取得された加藤喜規さんに、第2回目は、伊勢原市在住のNPO法人雨学文庫を活用する会の理事である豊雅昭さんに依頼しています。

日時は、2月24日及び3月10日の土曜日、午後1時30分から4時まで、全2回の講座として開講します。

会場は郷土資料館研修室、募集定員は40名といたします。広報については、チラシ、ポスター、町広報2月号、ホームページで周知するほか、タウン誌等に情報提供をしまして、2月5日から受付をする予定で準備を進めております。説明は以上です。

質疑応答) 質疑なし。

### 報告事項第4号 図書館教養講座『地図と地形からみた神奈川の鉄道』について

図書館長) 報告事項第4号の図書館教養講座「地図と地形からみた神奈川の鉄道」についてご説明します。

この講座は図書館の集会活動の一環として広く学習の場を提供して、図書館をより親しみやすい身近なものとすることを目的として毎年開催しております。今回は、『地図と地形からみた神奈川の鉄道～湘南地方を中心として～』と題して、地形図や国土地理院の空中写真素材などを用いて、湘南地方を中心とした神奈川県内の鉄道の成り立ちや変遷を紹介します。

日程としては、2月25日、日曜日に開催します。場所は、図書館大会議室で行います。講師は、フリーライターで日本地図センター客員研究員、地図情報センター評議員、日本地図学会評議員をされている今尾恵介さんをお願いしています。今尾さんの主な著書としては、『日本鉄道旅行地図帳』や『地図で読む昭和の日本』など多数あります。

募集人数は40名で2月2日(金)から来館または電話で募集します。周知につきましては、ポスター、チラシ、広報2月号、図書館ホームページにて、周知を行います。



質疑応答) 質疑なし

## 報告事項第5号 児童文学講演会『絵本と紙芝居のふしぎなふふふの違い』について

図書館長) 報告事項第5号の児童文学講演会「絵本と紙芝居のふしぎなふふふの違い」についてご説明します。

この講座は児童文学者の話を直接聞くことにより、本に親しみを感じ読書をより身近なものとするきっかけを作ることを目的として毎年開催しております。今回は数多くの絵本や紙芝居、さし絵の製作に携わった経験から、絵本と紙芝居の本質と魅力について語っていただきます。

講師は、児童文学作家長野ヒデ子さんをお願いしています。長野さんの主な著書としては、『せとうちたいこさんシリーズ』や『とうさんかあさん』など多数あり、図書館でも絵本や紙芝居を140点ほど所蔵しています。

開催日は、3月10日、土曜日。場所は図書館大会議室で行います。対象は広く児童文学に興味のある一般成人の方やお話しボランティアとして、募集人数は40名で2月9日(金)から来館または電話で募集します。周知につきましては、ポスター、チラシ、広報2月号、図書館ホームページにて、周知を行います。

質疑応答) 質疑なし

## 報告事項第6号 平成30年度大磯町郷土資料館の臨時開館について

郷土資料館長) 報告事項第6号「大磯町郷土資料館の臨時開館について」説明させていただきます。

資料1ページをご覧ください。大磯町郷土資料館条例第5条第2項に基づき、毎月1日は一般公開しない日と定めておりますが、大磯町郷土資料館本館並びに別館の一般公開日を臨時に変更するものです。

一般公開日に変更する日は、平成30年4月1日(日)と5月1日(火)、2日(水)に、本館と別館を、臨時に開館するものです。

臨時開館の理由としましては、大磯町郷土資料館本館並びに別館の利用促進・サービス向上を目的とするものです。

2ページは本館ならびに別館の利用案内、3ページは大磯町郷土資料館条例の該当箇所の抜粋です。

質疑応答) 質疑なし

## 報告事項第7号 春季企画展『ちょっと昔の暮らしと道具』の開催について

郷土資料館長) 報告事項第7号、春季企画展「ちょっと昔の暮らしと道具」の開催について、ご説明させていただきます。

資料をご覧ください。今回の展示は、平成29年度第3回企画展として、平成30年2月3日(土)から3月31日(土)まで、48日間の開催を予定しております。

今回の企画展は、郷土資料館で所蔵する民俗資料のうち、昭和初期から現在にかけて利用されてきた道具をテーマごとに紹介するものです。

企画展の内容については資料の4に記載の展示構成といたします。

刊行物については、リーフレットを作成し、本日配布させていただきました。

また、資料2ページの7に記載の関連企画を行いません。今回の企画展については、各媒体への周知、リーフレットの配布やHP. などでも周知を図ってまいります。

質疑応答) 質疑なし。

## 報告事項第8号 大磯町立学校教職員働き方改革の取組みの試行について

学校教育課副課長) 報告事項第8号、大磯町立学校教職員働き方改革の取組みの試行についてご報告申し上げます。

資料の1ページ目をお開きください。新たな取り組みとして、今年度、学校長等の経営者会等で検討を続けてきましたが、趣旨といたしましては、現在、国の推進する「働き方改革」を受けて、平成29年8月29日、中央教育審議会初等中等教育分科会及び学校における働き方改革特別部会から「学校における働き方改革に係る緊急提言」がありまして、大磯町立学校においても「働き方改革」の目的を踏まえ、3学期に取組みを試行することとします。

目的は3つ、教職員の心身の健康やワーク・ライフ・バランスにつなげる。仕事効率の向上により教職員が子どもと向き合う時間を確保する。職員の働きやすい職場環境の実現を推進する。試行実施期間は、平成30年1月15日から平成30年3月31日までとなります。

取組内容は、業務終了時間は午後9時までとする。ただし、やむを得ない業務がある場合は学校長に届け出を行い、午後10時までには消灯し、全職員が帰宅する。

大磯町立学校教職員の勤務時間は午前8時30分から午後5時までであるが、児童・生徒の帰宅する時間を考慮し、午後6時までは時間外勤務をしている職員で電話等の対応を行う。それ以降の保護者等との対応は翌日以降にお願いすることとする。ただし、緊急対応等、やむを得ない場合はこの限りではない。児童・生徒の生命にかかわること等、緊急対応が必要である場合は、大磯町役場に連絡をしていただく。期間中に、成果と課題を洗い出し、子ど

もと向き合う時間の確保や、働きやすい職場環境づくりに向けて検証を行う。週 1 日は放課後「ノー会議・打合せデー」を設けるように、各校で調整をしていく。そして、その他、3カ月の試行期間を経て、平成 30 年 4 月 1 日から本格実施する予定でございます。

また、保護者には教育長より上記取組みについての「お知らせ」を配布し、趣旨及び目的の御理解・御協力をお願いしました。参考資料として、1 月 10 日に保護者に配布した文書をつけております。説明は以上でございます。

質疑応答)

青山委員) 取り組み内容について緊急対応が必要な場合というのが、一番懸念されると思うのですが、学校の電話を留守番電話にして、緊急対応については役場に連絡してくださいということになると思うのですが、役場が受けた電話をどのように処理していくかルールはありますか。

学校教育課長) 役場には宿直がおりまして、その日誌の中に緊急時対応の処理として、学校教育課長及び副課長の携帯電話の番号が記載されており、そこに直接かけてくることとなっています。その後、私たちから校長に連絡をするなど対応していきます。

青山委員) 緊急の場合の迅速な対応というのは重要だと思いますので、確認して慎重に行っていただきたいと思います。

また、消灯時間の設定ということについて、過度な残業の抑制はできるとは思います。やり残した仕事をもち帰る状況が起きないとも限りませんし、そのような中で資料の紛失ですとか、いろんな問題が起きないように試行期間の後にはしっかり検証していただきたいということを意見として述べさせていただきます。

瀨名委員) 緊急対応の場合、サービスのことを考えると、各担任の携帯電話番号をお知らせするのが良いのかもしれませんが、これは絶対個別の対応となってしまいますので、やめてくださいというのを入れた方が良くと思います。県教育委員会でも間違いがあったというのは、部活顧問もそうですが、児童生徒に電話番号を教えていてそこでの個別のやり取りから問題に発展しております。また保護者も緊急対応でなくても、すぐに電話をしまって教職員の生活時間を削られているという可能性もありますので、各担任の先生は携帯番号を公にしないようにすることをルール化していただければと要望いたします。

(その他)

教育長) では、次回の会議について事務局から報告をお願いいたします。

事務局) 次回の教育委員会定例会は、2 月 23 日、金曜日、午前 9 時から、役場 4 階第 2 委員会室で開催予定です。午後は大磯幼稚園の訪問となります。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成 29 年度 大磯町教育委員会第 10 回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成30年 2月23日

教 育 長 \_\_\_\_\_

教育長職務代理者 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_